

フィンランドで生まれたデザイン雑貨を特集

保存版・旅企画

# 北欧雑貨と暮らす



独立100周年特集

## FINLAND

### ヘルシンキの今を旅する

話題の2大エリアへ  
ローカルに愛される新旧カフェ巡り  
本場のシナモンロールを食べくらべ  
タンペレへ列車で行く旅

森と湖が育んだ  
フィンランド・デザイン

アルテック、イッタラ、マリメッコ  
3大ブランドとデザイナー

SUOMI LASI

繊細なガラスアートに恋して

リトアニアのハンドメイド

切り絵のカーテンと蜜蝋キャンドル

豊かな自然を感じる北欧のカゴ

NEKO MOOK 2581 no.10



名匠たちの非常に高度な技術に支えられ、製品のラインナップを広げています。



フィンランドでは高い耐熱性と蓄熱性から古くからカレリアンソープストーンを暖炉に使用。一日中家を暖めてくれます。



スマートなグラス付きは取り外し仕様。グラスに飲み物を注ぎ、冷やしておいたストーンにセットして使います。クーラーグラススリム (200ml) φ53 × 全高 (ストーン+グラス) 173mm 3700円



突起部分がツボを刺激し手軽にマッサージができるストーン。ペーパーウェイトやかわいいインテリアとしても。ポイントマッサージストーン ターボ φ45 × 全高72mm 2760円



冷凍庫で冷やしたワインクーラーにワインやシャンパンのボトルをセット。ストーンのもたらす保冷効果で長い間冷やします。ワインクーラー φ126 × 全高117mm 8900円

## HUKKA DESIGN

フッカデザイン / Since 1985

HUKKA DESIGN

フィンランドで約28億年前に生成されたカレリアンソープストーンを用い、キッチンウェアやマッサージ、サウナ製品を作っているブランド。ロシアとの国境に隣接しているフィンランドのホイロアの小さな山小屋からスタートし、現在では最新技術を利用したモダン製造とデザインカンパニーへと成長しています。

問: 宝通商(株) HUKKA JAPAN チーム

シリーズ名の「Väri (バリ)」はフィンランド語で「色」のこと。印象的なキューブ型のケースで、柔らかなカーブとともに、女性のエレガントさを引き出します。Väri 幅33 × 奥行33 × 厚さ8.65mm 1万5000円



時計表示を強調し、下のディスクは時針、上のディスクは分針の役割をしています。クラウンはケースの中にあって、必要時に引き出せます。3012 φ39 × 厚さ9.3mm 2万1000円～



デザイン工程の基本は時計のフェイスから。写真はVäriシリーズのスケッチ。

designer

マッツ・ロングレーン

1981年生まれ。アアルト大学芸術デザイン学校卒業後、ペンタゴンデザインに在籍していた。Nokiaなどの世界的企業のデザインでも活躍。



## HYGGE

ヒュグゲ / Since 2009

HYGGE

ヒュグゲとはデンマーク語で居心地のよいという意味。シンプルでミニマルでありながら作り手の息吹が感じられる北欧デザインは、日本人の感性を揺さぶる感動があります。日本企業のピーオーエスが立ち上げ、マッツ・ロングレーン(フィンランド)のほか、メジャー・ツェ(イギリス)がデザインを手掛けています。

問: ピーオーエス



3頭の象がモチーフとなった、ユーモラスな作品。ヨートマのなかでも人気の高いデザインです。playing circus ポストカード 縦148 × 横105mm 280円



タイトルは「どのくらい長く飛べるかな?」。ちょっととぼけた味わいのあるライオンの表情に釘付けです。How time can fly ポストカード 縦148 × 横105mm 280円



expeditionとは「遠征」のこと。どことなく懐かしさを感じさせる独特の淡い色使いが魅力です。expedition ポストカード 縦148 × 横105mm 280円

designer

リーッタ・イソトバ・シルタネン

フィンランド出身のビジュアルアーティスト。ヨートマの作品はフィンランドの美術館などでも販売されています。



## JOUTOMAA

ヨートマ / Since 2006



ヨートマとは荒地のことを指し、「新しいものが古いものたちから生み出される場所」という思いが込められています。モチーフは動物やサンタクローズなどの童話・神話から。そこに古いイラストや写真、アンティークの紙などをコラージュしながら、スモーキーな色合いで独特の世界観を作り出しています。

問: 北欧インフォメーションセンター



Profile (左から)

**ヤコブ・ユールさん**

bulbul (ブルブル) 創設者。2013年にデンマークでブランドを設立し、世界を飛び回る起業家でありデザインマニア。常識にとらわれないアイデアで急成長を遂げている。

**マッツ・ロングレーンさん**

ヘルシンキを拠点とするインダストリアルデザイナー。2015年までフィンランドのペンタゴンデザインに在籍し、HYGGE (ヒュッゲ) のデザインを担当。

**デビッド・タタンジェロさん**

オーストラリア・メルボルン出身。2012年にデザイナーである彼自身により、STOCK WATCHES (ストック) を設立。クラシックなスタイルの信頼できる腕時計を展開する。

**ロス・ミクブライドさん**

normal (ノーマル) 代表取締役兼デザイナー。アメリカ生まれ。大学卒業後に来日し五十嵐威憲に師事。1991年にノーマルを設立し、2006年に時計ブランドをスタート。

**デニス・グイドーネさん**

イタリアを代表するグラフィックデザイナーで、現在はNAVA (ナヴァ) のデザインを担当。親日家であり、日本にインスピレーションを受けたデザインも。

**デビッド・エリクソンさん**

スウェーデン出身、香港在住のデザイナー。2008年に自身のスタジオを立ち上げ、VOID WATCHES (ヴォイド) を設立。洗練された作品を世に送り出している。

## クールなデザインウォッチが集結 POS+Exhibition

デザイナーが本当に作りたい腕時計をという理念で始まった「POS + (ポスト)」の取り組み。8つのブランドで構成され、そのうち6人のデザイナーや創設者がこの3月に来日。スペシャルなトークイベントが開催されました。

写真(トークイベント)・文/編集部 商品問い合わせ・写真協力/ピーオーエス

長く愛されるデザインを目指し  
美しさを追求する

「自身のブランド、時計・時間に対する考え方を教えて下さい。」

(ロス・ミクブライド) 私のデザイン哲学はミニマルであること。大好きな日本のクラフトマンシップや歴史から影響を受けています。アメリカのミッドセンチュリーのデザインも好きです。

(デニス・グイドーネ) 変に思うかもしれませんが、実は私はデザインウォッチが嫌いなんです。「時間を見る」というより「時間の経過」を見せる、遊び心のあるデザインをしたかった。「FORA UNICA」はあえて、時間が見にくい、経過を楽しむようにデザインしています。

(デビッド・エリクソン) 時計が時間を伝える道具であるということ。私は当初メカニクエンジニアだったため、時計もメカニクで道具っぽくなっています。デザインのきっかけとしては、自分の家を会社にしており、あまり大きなデザインをできなかったため、小さな腕時計を選びました。

(ヤコブ・ユール) ブルブルはミニマリズムを理想としていて、現在キビシというとても有名なデザインユニットにお願いしています。彼らが自分のイメージしたものを形にしてくれるので、創設者としても、とても信頼しています。

(マッツ・ロングレーン) ヒュッゲは非常に新しいブランドで、仕事

を始めてまだ5年ほど。これまでに3つのコレクションを発表しましたが、いずれも日本の技術と北欧のデザインを融合したものになっています。日本は小さなもののなかに美徳を感じさせますよね。そうしたミニマリズムや日常で使えることを意識して作っていました。

(デビッド・タタンジェロ) 自分が時計のコレクターであったこと、そして自分で作って楽しいと思えるものから時計のデザインを始めました。

「好きな日本人デザイナーはいますか? また、デザインのインスピレーションは?」

(ミクブライド) だいぶ前に亡く

《上》イベントは椅子を円卓状に並べて話すおしゃべり形式で行われました。ざっくばらんに話すことで、普段は見られない表情や話も。《下左》今回来日した6人それぞれが自分のブースをコーディネート。個性溢れる展示となりました。写真はnormal timepiecesのブース。《下右》イベントでは時計をモチーフにした料理が振る舞われ、観客の目もお腹も楽しませてくれました。





## 北欧出身者によるおすすめスポット

今回のイベントのために、北欧からは3名が来日。デザインのインスピレーションとなっているおすすめの名所を聞きました。



### Finland

多数の島が連なるアーキペラゴを探検するのはとても興味深く、ユニークな経験になると思います。私自身、毎年夏はアーキペラゴを巡って過ごしますよ。また、ヘルシンキでは近年公共のサウナが増えており、Löylyと呼ばれる場所もおすすめです。どこに行く場合も、サウナはマストです！(HYGGE マツ・ロングレーンさん)



### Danmark

コペンハーゲンを徒歩または自転車で探検してみても、途中でぜひBredgadeのデザインミュージアムに立ち寄ってください。ここではbulbulの時計Pebbleも永久収蔵品として展示されています。また、KiBiSiが手掛けた作品もある、ルイジアナ美術館やヘルシンゲルにあるデンマーク国立海洋博物館もいいですよ(bulbul ヤコブ・ユールさん)



### Sweden

何千もの諸島が連なるスウェーデン東部の海岸沿いが好きです。私はセーリングをしながら育ったこともあり、この場所を何度も訪れています。日帰りででもたくさんのボートが出ているので、ストックホルムに来たらぜひ乗ってみてください(VOID WATCHES デビッド・エリクソンさん)



STOCK WATCHES  
Stock S002G

女性も男性も身に着けられる、クラシックで中性的なデザイン。2年以上試行錯誤を重ねた末に完成されたシリーズです。φ36.3mm 3万1500円



NAVA  
ORA UNICA 42mm WHITE

「ORA UNICA」はイタリア語で「今だけ」の意。ヒモがぐるりと巻かれたデザインの針は短いラインが時針、長いラインが分針。φ42mm 2万500円



normal timepieces  
EXTRA NORMAL  
- PINK GOLD

盤面全体がディスクになっており、短針の部分だけ小窓のように空いていて、下にある文字盤の数字が覗いて見えます。φ32mm 2万3000円



VOID WATCHES  
V03D CO/GY/NY

ブロンズのカラーケースにブルーのフェイスで、クラシックな落ち着いたデザイン。白い針は夜にも見やすく夜光処理がなされています。φ38mm 2万7000円



HYGGE  
3012-WHITE/BLUE

ヒュゲはデンマーク語で「居心地の良い」という意味。短い針が分を示し、長い針が時間を示すという、通常と真逆の珍しい機構が特徴。φ39mm 2万1000円



bulbul  
ORE - STEEL / BLACK

ホワイトの文字盤とシルバーのケース、ブラックレザーベルトのシンプルさが魅力。世界が最も注目するデザインチームKiBiSiがデザインを担当。φ39mm 4万6500円

## POS+ WATCH SELECTION

6者6様のデザイン哲学を凝縮した  
珠玉のデザイン。  
創造性へのこだわりを感じる、  
それぞれの代表作を集めました。



KiBiSi

建築家ビャルケ・インゲルス、工業デザイナーのラース・ラーセンとイェンス・マーティン・スキプステッドの3人により、2009年にデンマークで設立されたデザインユニット。ルイス・ポールセン他、数々のメーカーにデザインを提供している。

なっただけ、倉俣史朗です。その時代の日本の作品はほとんど知っていませんね。いつまでも私の中に生き続けています。(グイドーネ) イッセイミヤケ、深澤直人、安藤忠雄。イタリアと日本を拠点に活動しているの、日本のデザイナーはたくさん知っています。日本はインスピレーションを沸かしてくれる場所で、和の美しさはとても面白いのです。この4月から東京に新オフィスを開くので楽しみ。また、私の場合は旅することもインスピレーションになっています。(ユール) nendoです。限界を突破しようとする姿に、とても共感しています。

—— 自分にとって、良い時間の過ごし方を教えてください。  
(タタンジエロ) 音楽を聴いている時はリラックスしています。言葉も関係なく、24時間過ごせるのがいいですね。好きなジャンルはエレクトロミュージックです。(エリクソン) スウェーデンでは特にお金をキッチンにかけるのが一般的で、ホームパーティーが習慣になっています。今住んでいる香港ではなかなかできないですが。(ロングレーン) セーリングをしているとき。デザイナーであった両親も大好きで、私も今もやっています。日本と同じように、フィンランドも自然が身近にあるので、共生している感じがです。